

OB NEWS

JAPAN PROFESSIONAL BASEBALL

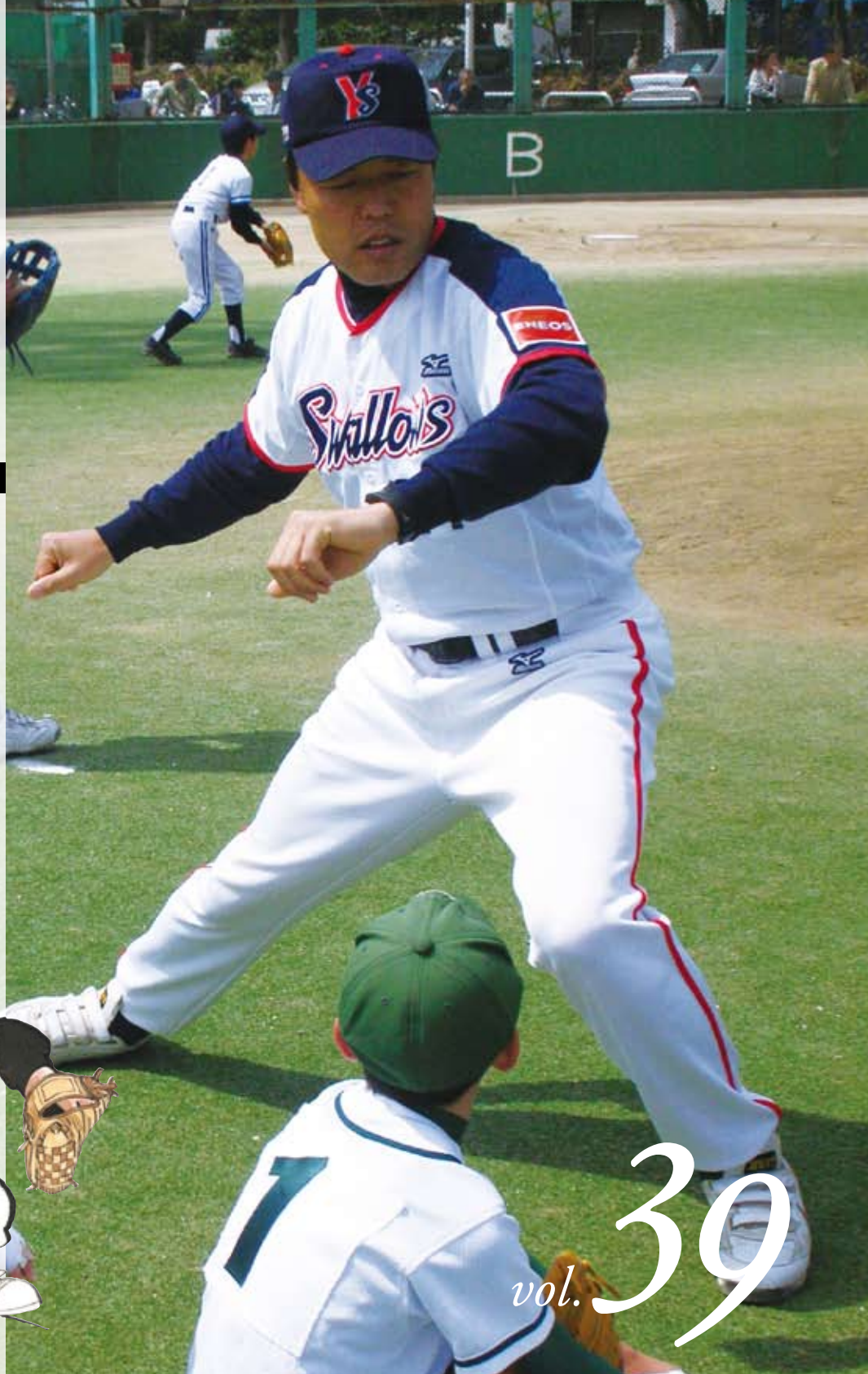
社団法人全国野球振興会
(日本プロ野球OBクラブ)

contents

アマチュア野球界への還元	1
地域活性化にともなう各ブロックの 活動報告③	2
「第2回マルハンドリームカップ 全国草野球トーナメント」開幕	4
事務局より／ 東京ベースボールスクール開校	6



©水島 新司
全国野球振興会イメージキャラクター「9ちゃん」



vol. 39

野球の魅力伝え、さらなる底辺拡大を!

当会では、これまで野球界の底辺拡大と普及振興を目的とした様々な活動に取り組んでまいりました。そのひとつとして小中学生を対象とした進路学習の受け入れがあります。2004年より20校約200名の生徒がプロ野球OBとのふれあいを通じて、「プロ野球選手」という職業や自身の進路について学んできました。

また、2006年に文部科学省より委嘱(2007年より委託)を受け実施している「アマチュア野球選手・指導者強化育成事業」は今年度も引き続いて選定を受け、実施が決定しました。現

在、2009年1月からの実施に向け調整を進めております(各事業とも「OB NEWS」Vol.40にてご報告いたします)。

どちらもアマチュア野球の選手や指導者を対象としていますが、私たちプロ野球OBの技術や経験を還元することで、野球界の発展に寄与できればとの願いが込められています。

今回のロンドン五輪では野球が正式競技から除外されることもあり、今後、野球人口減少などの影響が懸念されますが、私たちプロ野球OBは、今こそ持てる全ての力をもって「野球界への恩返し」をし、野球の魅力を伝えてまいります。

今年度も各ブロックで底辺拡大と地域活性化の活動に取り組んでいます！

地域活性化にともなう各ブロックの活動報告

3

今年で3年目となる野球を通じた「地域活性化」への取り組みは、少しずつ地域に根付き、その枝葉が広がりつつあります。

その要因のひとつとして、幹事の正式な組織化が挙げられます。これまでの幹事制度は任意の役職であり、活動も個人の善意に頼ったものでした。しかし、全国的に会員を抱える大会が目指す野球界の底辺拡大と普及振興活動の達成のためには、各都道府県を統括する幹事の地位の向上と、各地での一致団結した精力的な活動が不可欠です。そこで、本年3月に幹事を大会の底辺拡大委員会の下部組織として位置付けるとともに、「代表幹事」と名称を改め、「地域活性化」に取り組むこととなりました。

今回は、全国8ブロック10名のブロック長の「地域活性化」にかける熱い意気込みをご紹介します。

各ブロック 開催イベント ご紹介

各ブロックで行われたイベントへの協力・後援活動をご紹介します。



北海道・東北ブロック
山形県●5/24(土)
日本プロ野球OBクラブ杯東北選抜リトルシニア野球大会
◎選手宣誓「正々堂々と戦うことを誓います」



関東ブロック
茨城県●8/9(土)・10(日)
2008年 日本プロ野球OBクラブ桜川大会
◎始球式に登板する西田事務局長



東海ブロック
愛知県●3/21(金)～3/24(月)
アジア少年野球交流協会 韓国遠征
◎OBクラブの旗をもって笑顔の交流



四国ブロック
徳島県●8/22(金)～8/26(火)
大鳴門橋学童軟式野球大会
◎優勝盾および最高殊勲選手賞盾を寄贈しました



九州・沖縄ブロック
長崎県●3/1(土)・2(日)
飯盛町少年野球大会
◎賞状を手にして清々しい閉会式(左：長崎県代表幹事 杉町 攻氏)

幹事 辞任のお知らせ

長らく大会の幹事をお務めいただいております9名の皆さまが、このたび退任の運びとなりました。各幹事の皆さまには長きに渡って野球振興・普及および底辺拡大のためにご尽力いただき、大会のみならず野球界全体にその功績を残されました。ここに多大なるご助力を賜りましたことをお礼申し上げますとともに、皆さまにご報告申し上げます。

山形県 滝口 光則
東京都 故・田中 俊幸
千葉県 板倉 正男
三重県 伊藤 四郎
石川県 谷下 和人
滋賀県 西村 高司
大阪府 坂口 慶三郎
山口県 芦岡 俊明
宮崎県 岩岡 保宏

都道府県代表幹事のご紹介

選任された47都道府県の代表幹事をご紹介します。

※はブロック長

敬称略

ブロック	都道府県	氏 名
北海道・東北	北海道	有沢 賢持 [※]
	青森県	在住者なし
	岩手県	吉田 克郎
	秋田県	小西 秀朗 [※]
	宮城県	小野木 孝
	山形県	不在
関 東	福島県	福本万一郎
	茨城県	根本 学
	栃木県	五月女 豊
	群馬県	種部 儀康
	埼玉県	矢作 公一
	東京都	村上 雅則 [※]
東 海	千葉県	松岡 弘
	千葉県	千田 啓介
	神奈川県	寺沢 高栄
	山梨県	坂巻 豊
	山梨県	野村 収
	山梨県	内藤 久
東 海	静岡県	田所善治郎
	愛知県	河村 保彦 [※]
	岐阜県	吉村 典男
	三重県	谷本 征一
	三重県	森田 通泰
北信越	長野県	吉澤 勝 [※]
	新潟県	大滝 信孝
	富山県	干場 崇永
	石川県	不在
	福井県	川藤龍之輔
近 畿	滋賀県	西川 克弘
	京都府	大門 和彦
	奈良県	黒田 勉
	和歌山県	木村 竹志
	大阪府	伊香 輝男
	兵庫県	山本 重政
中 国	兵庫県	鎌田 実
	兵庫県	芝池 博明
中 国	鳥取県	黒坂 幸夫
	島根県	石橋 貢
	岡山県	西山 毅
	広島県	渡辺 弘基 [※]
四 国	山口県	不在
	香川県	田中 調
	徳島県	白石 静生 [※]
	高知県	岡 幸俊
	愛媛県	岡 慎人
九州・沖縄	福岡県	三浦 政基 [※]
	佐賀県	永淵 洋三
	長崎県	杉町 攻
	熊本県	八浪 知行 [※]
	大分県	中村 国昭
	宮崎県	片岡 光宏
九州・沖縄	鹿児島県	鶴野 道夫
	沖縄県	森長 隆

ブロック長意気込み ご紹介

北海道・東北 有沢 賢持
声かけからはじまる地域活性

北海道は日本ハム、高校野球の活躍により野球をする子どもが増えています。現在、少年野球大会への積極的な視察により、関係者・子どもたちとのコミュニケーションを図っています。2月に指導者講習会、そして3月に中学選手指導者講演会など、今後も野球教室などを増やし野球を通じての交流を深めてまいります。



北海道・東北 小西 秀朗
事務局への意見反映の徹底を

OBクラブ事務局からの出席を伴うブロック会議を実施し、各県幹事の意見を事務局に反映できる体制を取り、今後はさらに具体的な活動目的や、年毎の方針等を決めていきたいと考えております。そのことによりさらなる有効的なブロック活動になることと思います。私はもとより、各ブロック長共に十分に活動意欲を持っておりま



関 東 村上 雅則
冠大会実施を目指して

関東ブロック長に就任した私としては、野球界の底辺拡大のため、まず関東ブロックでのOBクラブ主催の冠大会を小中学生を対象に開催できるよう、各県幹事と密に連携を取り皆様の協力を元に実現できたらと考えております。



東 海 河村 保彦
東海ブロックでOBクラブ交流戦を

東海ブロック長は少々荷が重い気はしますが、岐阜・三重・静岡の代表幹事と連絡を密にし野球発展に努力してまいります。まず、愛知・岐阜・三重・静岡から少年選抜を選出してOBクラブ交流戦を開催し、その後に野球教室ができるようにと考えております。



北信越 吉澤 勝
より密な連携から底辺拡大へ

北信越ブロック長に就任し、大変な役を受けてしまったと思っている次第ですが北信越各県の幹事さんと連携を取りながら野球界の発展、底辺拡大に努めてまいります。



近 畿 岡本 伊三美
推進力向上を目指し、初心で挑む

7月30日に関西ファンとの集いを行い、550人のファンとOB56人が参加し、盛会となりました。また、大阪教育委員会と話し合い、来年の6月に中学校の先生方に野球の指導も含めて集まる行事も決定しました。来年は関西に独立リーグが発足し、OBクラブでの応援も依頼されております。何よりも定款にあるプロアマの交流を促進することが大きな目的であると考えております。



中 国 渡辺 弘基
恩返しを胸に

野球を通じてたくさんの人を知り、また教えられる事も多々あり、今日まで何とか人生を送ることができました。これも野球のおかげと感謝しております。今後は野球を通して子どもたちや地域社会へ恩返しをしていくことを考えております。



四 国 白石 静生
具体的開催へ向けて始動

一昨年ブロック長を受けることとなりました。四県幹事多忙のため、具体的な行事開催には至っておりませんが、私自身少し時間が取れるようになったので、来年度は幹事と相談しながら地域活性化、指導者講習会など企画したいと考えております。



九州・沖縄 八浪 知行
本格始動 中学野球九州大会

来年度開催予定の中学野球九州大会につきましては、九州・沖縄ブロック会議を今年度中に開催致し全力を挙げて取り組んでまいります。皆様の力強いご支援よろしくお願い申し上げます。



九州・沖縄 三浦 政基
キーワードはボランティア

九州ブロック8県が連携をとり、しっかりとした組織のもと積極的な小中学生への野球指導を地域との密着したふれあいをもとにOB会員の活動精神のコミュニケーターとして行動していきたいと考えております。ここから底辺拡大、会員活動の促進、そして地域住民・地域企業の協賛と賛助の増加を推し進めていきたいと考えております。まずは、OB一人一人のボランティア活動からがスタートです。



関西2008年度ファンとの集い 開催報告

7月30日(水)リーガロイヤルホテル(大阪府大阪市)にて「関西2008年度ファンとの集い」を開催しました。OB56名、野球ファンの皆様など550名、合計600名を超すご来場をいただき、2006年に和歌山県で開催して以来の関西でのファンとの集いは盛り上がりを見せました。在阪球団のプロ野球OB選手・監督経験者を囲んでのお話や球団グッズが当たる抽選会などが行われました。ご参加・ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



大抽選会にて王貞治監督の直筆サイン入りユニフォームをみごと当て喜びの一枚



第2回

マルハンドリームカップ 全国草野球トーナメント開幕!!

株式会社マルハン様の特別協賛を得て、
国内すべての軟式野球チームを対象とした全国大会
「第2回 マルハンドリームカップ全国草野球トーナメント」が開幕しました。
全国大会決勝戦は、東京ドームにて
プロ野球マスターズリーグ公式戦の前に行い、
見事日本一になった優勝チームは、柴田 勲監督(元巨人)率いる
プロ野球マスターズリーグ&プロ野球OBによる
ドリームチームへの挑戦権を獲得します。
現在、全国で草野球愛好家たちの熱い戦いが繰り広げられています。

開会式 草野球ファンフェスティバル 関東地区予選 一日レポート

7月6日(日)サンケイスポーツセン
ター(埼玉県三郷市)にて開会式と草野球
ファンフェスティバル、そして関東地区
予選が行われました。
株式会社マルハン 代表取締役副会長
／マルハンドリームカップ実行委員会

大会スケジュール

6月7日 開幕

北海道地区決勝大会 10/11・12
●旭川ドリームスタジアム(旭川市)

東北地区決勝大会 10/12・13
●松島運動公園野球場(宮城県松島町)

関東地区決勝大会 10/25・26
●稲敷市桜川総合公園野球場(茨城県稲敷市)

北信越地区決勝大会 10/12
●こまつドーム(石川県小松市)

東海地区決勝大会 11/1
●熱田球場(愛知県名古屋市中区)

関西地区決勝大会 11/1・2
●スカイマークスタジアム・サブ球場
(兵庫県神戸市)

中国・四国地区決勝大会 11/1
●岡山県野球場(岡山県岡山市)

九州・沖縄地区決勝大会 11/8・9
●8日香椎浜第2球場(福岡県福岡市)
9日汐井球場(福岡県福岡市)

全国大会 準々決勝・準決勝 (関東地区)

全国地区代表8チームが参加

全国大会 決勝(東京ドーム) 11月24日(月・祝)

ドリームマッチ

ドリームカップ
優勝チーム

プロ野球OB
ドリームチーム



気持ちのこもったフルスイング
(中国・四国地区予選)



ピッチャーの雄叫びがグ
ラウンドに響きます
(関東地区予選)

大会 会長の鈴木 嘉和氏の開会宣言で幕を
開けた開会式では、ドリームチームの柴
田監督からの激励があり、参加チームの
みなさんは東京ドームへの思いをさらに
強くし、その後の予選に臨んでいました。
草 野 球 ファンフェスティバルで
は、ミズノ株式会社様提供の最新モデ
ル、ビヨンドマックスキングを使用した「バッティングクリニック」、9枚の
ボードを射抜く「ストライクボードコー
ナー」、「スピードガンコンテスト」が
開催され、得津高宏氏(元ロッテ)が指
導を担当したロングティ어의コーナー
では飛距離が飛躍的に伸びる選手が続
出しました。コツは「ミートする部分
を直視し続ける!」こと。ほとんどの
選手が自分の打った打球を眼で追って
しまう中、繰り返し得津氏の熱血指導
が続きました。ちょっとしたアドバイ
スで劇的な変化を実感した選手のみな
さんの驚きと笑顔が印象的でした。
昨年より大幅に開催地域が拡大し、激

戦が予想される今回の東京ドームへの
道。約4カ月間、草野球の熱い季節が続
きます。



選手宣誓はロイヤルマスターズの清水辰則さん
(開会式)

地区決勝大会出場チーム決定!!

地区決勝大会にコマを進めた
強豪51チームをご紹介します。

※日程は変更になる場合があります。

地区	地域	チーム名
北海道 地区	旭川代表	BREEZEN
	札幌(日曜)代表	神出設計
	札幌(早朝)代表	BIG SKY
	北見代表	9月23日(火・祝) 決定
東北 地区	函館代表	藤崎整形外科
	青森県代表	北日本ブレイズ
	秋田県代表	わか杉2007A
	岩手県代表	ファミリー観光ドリームス
	山形県代表	岡田商会球団
関東 地区	宮城県代表	9月21日(日) 決定
	福島県代表	バトル☆ジョージーズ
	栃木県代表	TSK
	群馬県代表	予選中
	茨城県代表	戸頭オールズ
	山梨県代表	予選中
	東京都A代表	ピエロ
	東京都B代表	Fs
北信越 地区	埼玉県代表	蔵星
	千葉県代表	Yamada Company
	神奈川県代表	専修大学Lines
	新潟県代表	小千谷名球会
	長野県代表	9月28日(日) 決定
東海 地区	石川・富山県代表	9月23日(火・祝) 決定
	福井県代表	九頭龍倶楽部
	愛知県代表	10月5日(日) 決定
	岐阜県代表	大垣アクアシティーズ
	三重県代表	南伊勢クラブ
関西 地区	静岡県代表	10月11日(土) 決定
	滋賀県代表	中川製瓦
	京都府代表	じゅんこうII部
	奈良県代表	RUSH
	兵庫県代表	9月23日(火・祝) 決定
中国・ 四国 地区	大阪府代表	9月15日(月・祝) 決定
	和歌山県代表	サマボー
	岡山県代表	予選中
	鳥取県代表	米子イーグルス
	広島県代表	広島ガッツ
	島根県代表	フッカーズ
	山口県代表	Victors
九州・ 沖縄 地区	徳島県代表	9月23日(火・祝) 決定
	愛媛県代表	SFIDA
	香川県代表	10月4日(土) 決定
	高知県代表	54's
	福岡県代表	予選中
	大分県代表	Mgene
	宮崎県代表	予選中
	佐賀県代表	イノセンス
九州・ 沖縄 地区	熊本県代表	熊本金太郎選抜
	鹿児島県代表	鹿児島バッファローズ
	長崎県代表	野母崎STREET BEATS
九州・ 沖縄 地区	沖縄県代表	予選中



得津氏の熱血指導でみるみる上達する選手のみなさん
(ファンフェスティバル)

いつも『OB NEWS』をご愛読いただきましてありがとうございます。今年も当会はアマチュア野球と多くの関わりを持つ下半期を向かえています。今後もさらなるプロ・アマ交流を目指し活動してまいります。

また12/10(水)には恒例となりました「感謝の集い」を開催いたします。皆様に直接お会いできることを楽しみにしております。

2008年 7月～9月活動報告

■ 各種講演会・野球教室

	日 程	名 称	会 場	講 師
7月	1日(火)	トップアスリート派遣指導事業(野球教室)	旭南小学校(茨城県銚田市)	江尻 亮
	1日(火)	トップアスリート派遣指導事業(野球教室)	川越南小学校(三重県川越町)	鹿島 忠
	7日(月)	トップアスリート派遣指導事業(野球教室)	向原小学校(広島県安芸高田市)	安仁屋宗八
	9日(水)	トップアスリート派遣指導事業(野球教室)	向小学校(埼玉県さいたま市)	松沼博久
	10日(木)	トップアスリート派遣指導事業(野球教室)	小平第十四小学校(東京都小平市)	高橋一三
	19日(土)	さいたま市障害者スポーツ教室(野球教室)	浦和総合運動場(埼玉県さいたま市)	種茂雅之、原口哲也
	21日(月・祝)	佐久平少年少女野球道場(野球教室)	佐久市営グラウンド(長野県佐久市)	松岡 弘、山下大輔、駒田徳広
8月	31日(木)	トップアスリート派遣指導事業(野球教室)	碑文谷体育館(東京都目黒区)	松岡 弘
	3日(日)	木津川市教育委員会少年野球教室	京都府木津川市	大熊忠義、南洲時高
	14日(木)	フォーリーフ ジャパン presents 第36回岡山県少年野球大会・野球教室	倉敷マスカットスタジアム(岡山県倉敷市)	土井 淳、松岡 弘、西山 毅、達川光男、南牟礼豊蔵、中藤義雄、八木 裕、佐野慈紀、坊西浩嗣、久慈照嘉、亀山 努、山地 隆
9月	23日(土)	トップアスリート派遣指導事業(野球教室)	大矢野総合体育館(熊本県上天草市)	野田浩司
	5日(金)	トップアスリート派遣指導事業(野球教室)	本城小学校(福岡県北九州市)	山本和範
	6日(土)	シャープ亀山つなぎ祭特別講演(講演会)	亀山市文化会館(三重県亀山市)	大沢啓二
	24日(水)	トップアスリート派遣指導事業(野球教室)	芝浦小学校(東京都港区)	江藤省三
	25日(木)	トップアスリート派遣指導事業(野球教室)	菅谷西小学校(茨城県那珂市)	松本匡史

■ その他の活動

	日 程	名 称	会 場	講 師
7月	4日(金)	吉川小学校「出会い・ふれあいから ～プロ野球選手の生き方から学ぼう～」	野球体育博物館(東京都文京区)	江藤省三
8月	9日(土)	高円宮賜杯第28回全国学童軟式野球大会	水戸市総合運動公園市民球場(茨城県水戸市)	土井 淳
9月	4日(木)	新潟県柏崎市立荒浜小学校「12歳のハローワーク」(夢・未来応援プロジェクト プルベン)	野球体育博物館(東京都文京区)	城之内邦雄
	21日(日)	第4回日野原重明カップ争奪スローピッチソフトボール大会	大田スタジアム(東京都大田区)	土井 淳、松岡 弘

■ 各種会議

	日 程	名 称	会 場	講 師
7月	7日(月)	第6回 近畿ブロック打ち合わせ	ホテル一栄(大阪府大阪市)	岡本伊三美、一枝修平、谷村友一、伊香輝男、黒田 勉、西川克弘、小川 亨、和田 徹、芝池博明、福岡 納、木村竹志、大門和彦
	10日(木)/ 8月28日(金)	認定委員会・指導力向上委員会 委員会会議	事務所会議室(東京都千代田区)	辻 恭彦、江藤省三

11月開校！「日本プロ野球OBクラブ 東京ベースボールスクール」

～野球技術の習得と社会に通じる人間の育成を目指して～

当会では、2008年11月より「日本プロ野球OBクラブ 東京ベースボールスクール」(以下、本スクール)に協力することとなりました。本スクールは、高校進学後も硬式野球部に所属し、野球に取り組んでいきたいと考える中学3年生を対象とし、元プロ野球選手(当会会員)が来春から始まる高校野球で即座に対応できる野球技術について指導します。

スクール後のミーティングでは、野球選手としての心構えや、プロ野球選手になるためのヒントを伝授するとともに、人間が成長していくうえで最も重要な思春期に野球と社会の関わり等の仕事感を養い、社会に通じる人間を育成するプログラム(リーダー育成プログラム)も開催します。また、保護者を対象とした「ホームトレーナー講座」や「栄養管理講座」も開催します。

本スクールは、現在受講者を募集しております。ご興味をお持ちの方は、当会事務局または株式会社ベースボールコミュニケーション(TEL:03-3553-4720)までお問い合わせ下さい。

日本プロ野球OBクラブ 東京ベースボールスクール概要

名 称 : 日本プロ野球OBクラブ 東京ベースボールスクール
 対 象 者 : 高校野球部に所属希望の中学3年生
 (2009年3月卒業見込み)
 開催期間 : 2008年11月7日～2009年1月23日までの3ヶ月間
 開催日程 : 毎週金曜日 17:30～21:30
 募集人数 : 投手16名、捕手6名、内・外野手18名 計40名
 練習場 : 神宮球場 室内練習場(東京都新宿区)
 講 師 【投手】 高橋一三(元巨人)、松岡 弘(ヤクルト)
 【捕手】 辻 恭彦(元大洋)
 【野手】 江藤省三(元巨人)、屋鋪 要(元巨人)、
 駒田徳広(元横浜)

募集締切 : 2008年10月20日(月)

主 催 : 株式会社ベースボールコミュニケーション
 協 賛 : 株式会社ハイゴルド、大塚バレー株式会社
 協 力 : 社団法人全国野球振興会(日本プロ野球OBクラブ)
 株式会社音別(仕事の学校)
 企画・運営 : 株式会社ベースボールコミュニケーション
 申込方法 : 株式会社ベースボールコミュニケーションホームページ内
 「お申込みフォーム」よりお申し込み頂けます。

<http://www.baseball-com.jp/ob>

会員情報

新入会員一覧 2008年6月以降入会

氏 名	代表出身球団	ポジション
原 俊介	巨人	捕 手
大友 進	西 武	外野手

訃報 慎んでお悔やみ申し上げます

2008年6月以降

氏 名	代表出身球団	逝去日	享年	生 年
岡池 均	パ審判	2008年6月30日	62歳	1945年
田中 俊幸	南 海	2008年7月11日	67歳	1940年
児玉 利一	大 洋	2008年9月3日	89歳	1919年
奥井 成一	阪 神	2008年9月11日	82歳	1926年

発行・編集人



社団法人全国野球振興会 (日本プロ野球OBクラブ)

URL : www.obclub.or.jp E-mail : info@obclub.or.jp

本部事務局

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-11-1 平河町ロンステートビル2階
 TEL : 03-3238-2900 / 3238-2893 FAX : 03-3238-2901

〔事務局より〕 住所変更の際は、お手数ですが上記事務局までお知らせ下さい。

編集協力 : 株式会社ナノ・アソシエーション 発行日 : 2008年9月